

国際理解出前講座

「陽気な国・メキシコ」



11月5日(木)に中寺小学校で国際理解出前講座「陽気な国・メキシコ」を開催しました。参加した児童の一人がメキシコに滞在した経験があることから、今回この講座を選ばれたそうです。講師はメキシコ出身のアナロサ・アレドント・ゴンザレス・デ・黒川さん。4年生の児童53名が、熱心にアナロサさんの話に耳を傾けました。

今回の講座では、メキシコの文化の紹介やスペイン語の練習などのほか、新型コロナウイルス感染症の影響も話されました。メキシコではまだ学校が再開しておらず、私立の学校ではオンライン授業が受けられるそうです。公立の学校に通っている子どもたちのためには、テレビで授業が放送されているそうです。

また10月31日のハロウィーンや11月1日、2日の死者の日(メキシコのお盆)も、今年はオンラインでのイベントが多かったそうで、その様子も紹介されました。

講座の最後にはじゃんけんを使うスペイン語を教えてくださいました。グーは“Piedra”^{ピエドラ}、チョキは“Tijera”^{ティヘラ}、パーは“Papel”^{パベル}というそうです。実際にアナロサさんとじゃんけんをして、大変盛り上がりました。



後日、講座を受けた児童のみなさんからアナロサさんへお礼の手紙が届きました。「スペイン語の挨拶が覚えられてうれしかった」「いつかメキシコに行ってみたい」など、思い思いの言葉が綴られていました。中には2ページにわたる手紙もあり、真剣に講座に取り組んでくれたことが伝わってきました。

